採血業務の留意事項

一般財団法人　日本健康管理協会

平素より、一般財団法人、日本健康管理協会の健康診断事業にご理解、ご協力を賜りまして誠に有難うございます。

巡回健診業務におきまして、採血の採り忘れ、採り違いが発生しております。また、他にも採血時、採血後の腫れ、痺れ、内出血などのトラブル等が発生しており、採血業務を請け負う看護師、臨床検査技師の方には大変お手数ですが、下記の留意事項をお読み頂き業務を行ってください。

記

1. 健常者が対象となる健康診断の実施では看護師（技師）対患者の対応にならないよう十分配慮して下さい。（医療サービスの提供）

2. 採血用具一式の出発前点検は採血担当者自身で必ずご確認下さい。

3. 採血を行う際は、周囲の空間を広く受診者様同士がぶつかったり転倒などのリスクを回避するためテーブルを採血者１人につき１台ずつ使用して下さい。

4. 採血に使用する椅子は背もたれがあって脚にローラーがついてないものを使用して下さい。

5. タブレット画面及び受診票を良く確認し、採血管の種類、Lox、生化など追加検査分の採血漏れのないようにして下さい。

6 採血事故（腫れ、痺れ、内出血、転倒）があった場合は、直ちに医師に診て頂き、班長への報告も速やかに行って下さい。「採血後の処置に関する内容詳細」への記入も実施。

7. 万が一、血液感染事故（針刺し事故、血液飛沫事故）を起こしてしまった場合は、必ずマニュアルに基づいて対処して下さい。（班長への報告も忘れないようにお願いします。）

8. 血液検体の保存は直射日光に当てることなく、クーラーBOXへ保存して下さい。但し、直接保冷剤が血液検体に触れないように気を付けて下さい。

◇ ◇

誓　約　書

私は、一般財団法人　日本健康管理協会の健康診断業務を実施するにあたり、上記『　採血業務の留意事項』を遵守する事を誓約致します。
また、この『留意事項』を逸脱した行為によりトラブルが生じた場合は、私と受診者間において解決するとともに、貴財団に損害を与えた場合は、全ての責任（賠償等）を負う事を確約し、ここに署名致します。

日付　　西暦　　年　　月　　日

ご署名